新東名厚木南JC工事登録54台
工事開始は10月以降に延期

新東名厚木南ＪＣ工事54台登録

前号でお知らせした「新東名厚木南ＪＣ工事」の就労時期が、10月以降に延期となりました。理由は、捨て場となる厚木国際ＣＣとの協議が遅れているためです。この間支部には54台のダンプ登録があり、新たに２名の方が組合加入しています。

組合では、第１回就労対策会議を８月23日に開き、配車体制を地域別に５グループに分け、それぞれ責任者（配車係）を配置し、公平な配車に努めることを確認しました。また、元請からは送り出し教育の徹底や安全資料の提出などが求められており、登録者全てに、近日中に登録書類を送付させて頂きますので、速やかに提出するようお願いいたします。

国家プロジェクトで過積載・さし枠・信号無視が常態化

神奈川県内で仕事が少ない一方で、都内では着々と国家プロジェクトが進行しています。関東ダンプでは８月27日に「国立競技場解体工事」「豊洲新市場建築工事」の現場視察行動と中央防波堤（中防）での宣伝行動を行いました。

国立競技場解体北工区では、９月末の工期で残土運搬が行われており荷台に布をかぶせていますが、明らかに「猫背積み」で過積載なのがわかります。さらに走り方を追跡してみると、中防まで３回赤信号無視するなど、東京オリンピックにまさに泥を塗る実態になっています。

国立競技場解体工事
過積載・赤信号無視で残土運搬

豊洲新市場建築工事
さし枠車が堂々と入場

豊洲新市場建築工事では、膨大な敷地の中で、場内運搬が行われており、さし枠車による過積載がされています。その後、中防でアンケート、全国ダンプ新パンフの配布を行いました。

関東ダンプでは、白紙撤回となっている新国立競技場の建設やリニア工事について、過積載根絶・交通安全遵守を徹底し、適正な単価を受け取れるよう、全国ダンプ組合員の使用促進闘争を徹底的に行うことを確認し、今後各発注者やゼネコンへの要請に奮闘していきます。

9月9日～9月11日まで、ダンプに「戦争NO」プラカード掲示しよう

戦争法案で「戦争しない国」から「戦争できる国」に！自衛隊員をアメリカの国益のために死なせるな

ダンプにプラカードを掲げてアピールを！

日本が「戦争しない国」から、「戦争出来る国」になるのか、国会では大詰めになっています。そもそも安保関連法案（戦争法案）は、アメリカの戦争の一部を自衛隊が補完するものであることは、一連の国会審議でも明らかになっており、安倍首相は、いち早く４月末にアメリカ上下両院合同会議で「夏までに成立させる」と約束したものです。日本の国会での議論を前に、国民の反対を無視して約束するなど民主主義の破壊に他なりません。

衆議院の審議の中でも、自民党推薦の参考人である憲法学者までも、この法案が「違憲」であることが指摘され、多数の憲法学者、弁護士、歴代内閣法制局長官、最高裁元判事などもが同じく「違憲である」と明言しています。

戦後70年、平和な日本を持してこれたのは、戦力を持たないと明記した「憲法９条」が国際的に信頼され、戦後日本の外交の礎になってきたことや、二度と戦争は起こしてはならないという、国民の不断の努力があったからです。

今、若者や子どもをもつ親などが各地で自主的に集まり、戦争法案反対の国会行動や各地でのデモ・集会でアピールしています。

ダンプ労働者も平和であるからこそ、安心して、誇りを持って働けることが出来ます。ダンプは戦争をするための土運搬などに、徴用されやすい仕事です。ダンプの仲間のいのちと未来を守るために戦争法案にＮＯの声を上げましょう。

戦争法案NOアピール行動提起

【内容】同封の「戦争ＮＯ」「９条守れ」のプラカードをダンプまたは乗用車に掲示してください。

【期日】９月９日（水）～９月１１日（金）まで、短時間・駐車場内でもOKです

※掲示したら携帯などで写真を撮り、ダンプ支部までメールしてください。

ctg-kana @ jasmine.ocn.ne.jp